

(7) アートプログラム (AIR事業) 実績

資料1 (7)

年度	アーティスト	プログラム		実施概要
H23	梅佳代、浅田政志、津藤秀雄、木村友佑、佐藤尚之	八戸レビュウ	招聘	新進気鋭の3人の写真家が88組の市民を撮影した作品を2人の作家のアドバイスで磨き上げられた88人の物語を添えて一堂に展示する写真展。八戸の多様な人々の生きざま、家族やコミュニティの絆に触れるプロジェクト。
H23	山本耕一郎	八戸のうわさ2	招聘	中心街のお店の方々の武勇伝、自慢話、趣味や悩みなど、プライベートな話題を伝聞調の「うわさ」の形に書き直して、フキダン型のシールにして貼りだすプロジェクト。親しくならないとわからないプライベートな情報を共有することで、商店街の人とお客様のコミュニケーションを活性化する。
H23	スー・ハイドゥ	デコトラヨイサー	招聘	八戸が発祥の「デコトラ」をテーマに獅子舞のような作品「デコトラ装束」を制作し、完成した装束を身に着けて市民ダンサーズが市内各所で披露。
H24	KOSUGE1-16	はっち流騎馬打球	招聘	伝統武芸「加賀美流騎馬打球」に着目し、当市が中学校ロボコン発祥地であることにも着想した「伝統芸能×ロボコン」「はっち流騎馬打球」を実施。
H25	ポーワング	ツール・ド・ハチノヘ	公募	自転車に乗って八戸の魅力を探し出し、6つのコースを作成。市民とともに自転車に乗ってコースを巡り、八戸を新・珍発見する企画。また、はっち初の全国公募の企画。
H25	ライトソースフィルム、ワインスタジオ	ショートムービーズ	招聘	八戸の美を切り口とした「八戸ビューティー」の一環で、工場内部やマルチこぶたー撮影などで知られる風景を可視化した映像作品。
H25	ゼロニウム、VJ FATTY、Peasact、釜石拓真	ライトショー	招聘	プロジェクトマッピングなどで八戸の魅力をテーマとした5つの映像作品を5会場で公開。3Dのコンピューターグラフィックで種差海岸やタコ漁の現場などバラエティに富んだ作品、ワークショップで制作した作品を投影した。
H26	SAMA・YAMA	ハチノヘものがたり	公募	オランダ在住(当時)のアーティストユニットが、八戸の海に伝わる言い伝え、民話、人々の知恵などの聞き取りを行い、そこから新たに紡ぎ出したイメージを映像作品に作り上げた。市営魚菜小売市場をアトリエとして活用。
H26	大島亜佐子	はちのへごっこハマネコ	公募	八戸の沿岸部を舞台にしたアニメーション作品「はちのへごっこ『ハマネコ』」を制作。音楽、声優には市民や八戸縁の人々が多数関わった。
H26	田附勝	魚ラボ	招聘	「魚を食べる」ことをテーマに、魚について語り合う魚ラボ会、魚ラボ新聞の発行、魚をめぐる八戸の姿を撮影した写真展「写ギョ」などを通して、八戸の魚食文化に関する情報を掘り起こす1年にわたるプロジェクト。
H26	ゼロニウムほか	ライトショー	招聘	はっち壁面に大きな八幡馬の3Dプロジェクトマッピングを展示。市民が制作したLEDランプの展示や学生とのタイアップ企画「りけじょマッピング」をはじめとした映像作品制作やLEDライトを制作するワークショップ「光の回廊」等も実施。
H27	YORIKO	八戸ロマン時空探検隊	公募	縄文をテーマとした企画で、市中心街の空き店舗を「基地」に、縄文を現代の目線から楽しく追っていくプロジェクト。翌年度には、是川縄文館と連携し、「是川時空探検祭」を開催。
H27	YORIKO	是川時空探検隊!	招聘	是川縄文館とはっちがタッグを組み「縄文時代にタイムスリップ」をコンセプトに演劇や音楽など創造性と臨場感を高めた近店で縄文文化を発信。

(7) アートプログラム (AIR事業) 実績

H28	深澤孝史	スケートアートプロジェクト「堤にもどる」	公募	スケートをテーマとした企画で、氷都八戸の歴史を掘り起こし、旧柏崎小学校跡地に八戸スケート大会発祥の“ため池”「勘太郎堤」(10分の1サイズ)を制作し、市民の当時のスケートの思い出を収集・展示。
H28 ～R2	吉川由美ほか	DASHIJIN プロジェクト	公募	八戸三社大祭の山車の造形力に光をあてる 5 年間にわたる長期間で様々なアートプログラムを実施。
R3	ヨシダミナコ	八戸の市文化にふれる旅	公募	日本最大級の館鼻岸壁朝市をはじめ、市内各地に点在し、市民の生活に根付く八戸の「市文化」を取材し、撮影した作品を図鑑形式とした「市図鑑～八戸の市文化にふれる旅」を制作。
R3	杉原信幸× 中村綾花	えんぶりえぼし、ゑ ぶりすり	公募	鳥帽子に関する大型作品や八戸の土地から着想を得た創作鳥帽子を展示したほか、リサーチをもとにした即興的パフォーマンス＆トークを実施。
R4	奥川純一	ピバ！オルタナティブはちのへ	公募	フォトグラファーが自らの足で取材し、観光ガイド、タウン誌、SNSにはあえて出てこないような日常の街の景色や事柄などを取り上げ“もうひとつの八戸”として冊子にしてみる企画。
R4	雨宮由夏	うつわを生ける	公募	生活の中で何気なく使用している“器や道具”という身近なモノをテーマに、何気ない使用方法や使っている場面、思い出など、日々の生活の中に点在しているエピソードを紐解きながら、八戸で暮らす人たちの食卓や生活、地域の文化を浮かびあがらせていくプロジェクト。
R5	プロジェクト大山	舞台づくり学校	招聘	音楽、衣装、ダンスの3つをテーマに、それぞれのプロが授業を実施。9月の公演に向け、身近な音を集めた音楽づくりや、自身の着用する衣装制作、体を動かす授業から、最終的に公演に向けた振り付けも自身で考えるプログラム。
R6	今井さつき	人間ノリ巻き in 八戸	公募	八戸の魅力を「人間ノリ巻き」の「具材」として作り、市民の皆さんと一緒に巻き込み、「人間ノリ巻き」を完成させる。また、八戸の食用菊の文化や八戸独自の巻物「菊巻き」を掘り起こし、地域に根ざす食文化やそこに息づく人々の姿を追うプロジェクト。
R6	プロジェクト大山	舞台づくり学校	招聘	前年度に引き続き第2弾として実施。
R7	アグネス吉井	八戸のまちをたっぷり味わうカラダのメニュー	公募	八戸の当たり前の風景や構造物を新たな角度から見て、「構造物に沿う」「堪能する」など、身体を使って表現するプロジェクト。
R7	越智良江	市民演劇プロジェクト	招聘	地元の方々のインタビューやリサーチをして戯曲を制作。学生を中心とした一般の方を募集し、ワークショップを通して制作し、公開する。